

■発行／南方熊楠顕彰会

〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL0739-26-9909 FAX0739-26-9913  
https://www.minakata.org/ (E-mail) minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠…………… 31

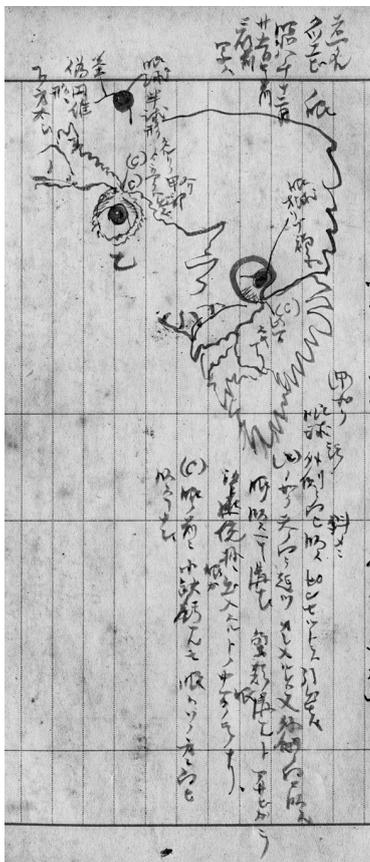
## “クツエビ”の眼

文／田辺・南方熊楠翻字の会 大和茂之

熊楠の日記の巻末ページには、生物を観察した絵がよく掲げられている。この文章では、田辺・南方熊楠翻字の会（以下、田辺翻字の会）で読んだ1933（昭和8）年の日記巻末に掲載されているスケッチを取り上げたい。この図にたどり着いたのは、筆者が田辺翻字の会に参加したばかりの時期に読んだ1933年12月24日の日記に、以下のような記述があったからであった。

此日午前十一時頃多屋謙吉氏長子来り、過日餽りし朝鮮松子の礼のべ、クツエビ五疋くれる。松枝、之をヌタに作り、金崎、中山二家へおくる。予夕飯に食ふに、甚だ美也。此夜郵便局より帰り、クツエビの眼を検す。此日記尻四一頁に図を出す。

その図と説明を翻刻したものを、以下に掲げる。



昭和八年十二月二十五日午前三時前写す。

(甲) 如く、眼球、頭の外側に向ひ斜めに臥す。ピンセットでは引出せず。

(乙) の如く、天に向て起つ。おし入るれば、又外側に向ひ臥す。

眼の臥すべき溝なし。蟹類の眼溝あるとアサヒガニの望遠鏡様に眼が出入するとの中間のものなり。

(C) 眼の前に小缺虧あるも、眼はその方に向ひ臥すことなし。

眼球オリブ褐色。

(C) 此間スキあり。

ぐるりの甲介部より高くは出ず。

眼球半球形、茎偽円錐形、下方太し。

いう種類だとわかる。

熊楠による図の説明では、特に眼の部分に注目しており、どのような方向に向いているかを詳細に観察している。このような形態やその生物学的意義は、様々な視点から議論が可能だろうが、熊楠は眼柄部分が伸びるアサヒガニとの比較をしている。アサヒガニの標本は顕彰館にも残っている。

この記述を読んだときには、菌類学者である熊楠が、動物についても鋭い観察眼を発揮しているものと思ったが、なぜ眼球に注目するのか、それ以上のことはよくわからなかった。

最近になって、たまたま『熊楠ワークス』32号の表紙を見ていたら、1941（昭和16）年日記巻末にある食料蛙のスケッチで、「四つ目」に見えることに言及していた。ここでも眼について注目している。その筆者である岩崎仁さんは、「四つ目の犬」について説明されている。岩崎さんは特に言及されていないが、「四つ目」や「四眼」というのは、「邪視」に結びつくものだろう。そう考えると、熊楠の興味と注目点がつながってくるように思える。

邪視関係の論文は、明治の頃から、昭和になっても書き継がれ、熊楠が一生涯を通じて考え続けたテーマであった。邪視のテーマは、現代人からすれば、トンデモな発想と思えるかも知れないが、生物の目玉模様などのように、ある生物が発する情報を、周囲の生物がどのように受け止めるかと考えれば、生物学的なテーマとなり得る。

熊楠の興味は、生物に対する観察から文化現象までを視野に入れていた。そんな熊楠からすれば、「クツエビ」の視線も気になって、スケッチにせずにはおれなかったようだ。

## CONTENTS

第31回南方熊楠賞 贈呈式	…2
第32回南方熊楠賞 授賞式	…3
南方熊楠賞受賞記念講演 山極 壽一	…4
山極壽一先生と田辺高校 生徒国際委員会「SEEKER」対談会	…13
南方熊楠賞受賞記念講演 江原 絢子	…17
講演 「虎」腹稿の修復にまつわる話 金山 正子	…28
講演 なぜ「十二支考」は虎から始まっているのか 武内 善信	…34
講演 21世紀の「十二支考」多文化主義から多自然主義へ 松居 竜五	…36
特別企画展報告 「熊楠の日記を読む」	…42
— 昭和の熊楠の生活と田辺の町について 大和 茂之	
特別企画展報告 「熊楠の日記を読んでもよう」のまとめ 大内 規行	…43
特別企画展報告 「熊楠の散歩道」の報告 多屋 敦美	…44
「第44回南方を訪ねてin龍神山」 長瀬 雅春	…46
南方熊楠研究会 夏例会報告 野村 さなえ	…48
「熊楠」生物覚え書 ③④ 土永 知子	…51
南方熊楠と同級生たち 郷間 秀夫	…52
書簡の杜（二十七） 岸本 昌也	…54
書評・書籍紹介 田村 義也	…56
南方熊楠ゆかりの地Instagramスタンプラリー	…58
[追悼] 古谷雅道さん 田村 義也	…59

1933（昭和8）年日記、巻末雑記、411頁【自筆288】

紀南地方では、イセエビの仲間ですくなくなった種類を、クツエビ、ソウリエビ、セッタエビなどと呼ぶ。図示されたものは、一見して標準和名のソウリエビ（*Parribacus japonicus*）と